

令和6年度沼田まつり検討委員会（第4回）概要

□日 時：令和6年11月7日（木）午後6時01分～午後7時15分

□場 所：テラス沼田4階 庁議室

□出席者：星野市長（名誉会長）、井熊会頭（会長）、山田観光協会長（副会長）、
青地区長会長（副会長）、須田副会頭（副会長）、
今井副会頭（副会長、委員長）、塩浦副会頭（副会長）、
山宮経済建設常任委員長（副会長）、山口経済部長（副委員長）、
小菅専務理事（副委員長）

□検討事項

（1）検討委員会の検討経過について

〔決定事項〕

○令和6年7月までに検討してきた内容に沿って今後検討を進めることを確認、須賀神社関係者と協議を実施する方向で決定した。

〔主な意見〕

○市民アンケートを検討委員会の名前でとってもらいたいという声を一部の区長からいただいた。また、暑い夏が続いているため、遅い時間での開催、時期をずらした開催などの案も検討して欲しいといった意見をもらったため、これら意見についても考慮し、市民感覚として捉えたうえでスピード感持って検討した方がいいと思う。

○調整は1年では不可能だと思う。2年かけても1回は分裂しないと収まらないかも知れない。だが、議論がそこを考えるラインまで来ていると腹をくくっている。持続可能な沼田まつりにしていくために、人口減少や異常気象のなかで沼田まつりを盛り上げる人たちに気持ちよく参加してもらうためにはどのような沼田まつりをやっていくかが検討課題だと思う。

○日程のことは須賀神社側と向き合ってしっかりと話し合っていかなければ議論も進まない。開催日時などの案を出してしっかりと話し合い、決めないとならない。暑さの関係も開催時間の短縮など、踏み込んだ議論をしていかないと市民の期待には応えられないのではないかとというのが率直な意見である。

○須賀神社と話をしてかない限り前に議論が進まない。ただ意見を聞いただけだとその日程案は受け付けられないと言われるだけなので、どこまで妥協できるのかを聞くためにもしっかりと話し合いを申し入れないとならない。

○今の沼田まつりへの参加方法が参加申請を出して参加する流れなので、申請書を出してこなかったら仕方ないことだということで割り切って考えないと、これからの沼田まつりで市民が楽しめる場所を作ることに繋がらないと思う。

○須賀神社は20年、30年と今の体制で実施してきているのも事実である。神社の関係者は「そちら側はすきなようにやればいい。3、4、5日で参加したければ来ればよい」と主張しているが、仮に別々に開催した場合に警察が須賀神社側の道路使用を認めてくれないと思う。

○沼田まつりは須賀神社も榛名神社もみんなで一緒にやっついていかななくては収まらないと思う。それを考えるのもこの検討委員会だと思う。

○須賀神社が3、4、5日にお祭りを実施し、8月第1週の土日のまつりにはみこしを出して担ぐようなやり方をとってくれば一番丸く収まると思っている。

- お祭りと神事を分けて考えてもらいたいとは思っている。お祭りにも参加して、みんなで盛り上げようといったような形がいいと思う。須賀神社が欠けてお祭りをやるとなっても面白くない。お祭りじゃなくなってしまうと思う。
- このまま日付についての議論を20年以上続けても埒があかないと思う。須賀神社と話し合うこと自体は賛成だが、話し合いの結果、決裂した際にそれでも話し合っていくのか、一定のところである程度の結論をだしたらその案で行くのか、その辺を協議しないとならないと思う。
- 須賀神社の祇園祭に沼田まつりが一緒になったという意識があり、天狗みこしなどの他行事も後からくっついて来たので、須賀の意見に合わせて一緒にやるのが当たり前といったような意識もあるのかもしれない。
- 市民アンケートの話だが、2月の区長会で出された日程についての意見が通らなかったため、このままでは日程をずらせないのであれば市民アンケートを取ってもらいたいといったところだと思う。
- 多数決だけで決められる問題ではない。多数決で決めてしまうと分裂することが目に見えて分かる。そうならないように、納得してもらうために調整していかなければならないと思う。
- 須賀神社に3、4、5日の神事をやめろとは言えない。神事については須賀神社の好きなようにしてもらえればと思う。協議すべきことは市民が楽しみにして、県外からも客が来るような祭りをどうやって続けていくかといったところだと思う。
- 日程変更反対している人の中には準備や片付けもあるため、土日でなくても参加者は変わらないことを主張している人もいる。ただ、これが本当にそうなのか、開催日が全て平日となる年を実施してみて検証データをとらないと分からないと思う。また、データを見せないと反対している人も納得しないと思う。
- 喧嘩別れすることが最悪のパターンである。丁重な対応をとっていきたいと思うし、令和8年度が平日のみの開催ともなるため、その年度の参加者や応援で来た人がどうだったかということを検証したうえで日程変更まで持つて行くべきだと思う。
- 人口も減ってくるわけなので、そこまで踏み込んで考えていかないと持続可能な沼田まつりに繋がらないと思う。
- 令和8年度実施後に検証するのでよいのか。災害等が発生した際にはすぐ中止、延期となる。今の暑さも災害同様だと思うのだがどうなのか。もっとスピード感を持って検討していった方がいいと思う。
- 須賀神社側のスタンスが神様に向いている。そこにこだわっているのも、たとえ1人になってもやる気があるのならばやるのだと思う。
- 変更するとしたら絶対1回目には須賀神社は出てこないと思う。それでも丁重にぜひ出て欲しいと言うことを言い続けて出てきてもらわないとならないと思う。本当の意味での分裂は最悪の結果である。

(2) 沼田まつり反省会の要望・意見について

〔決定事項〕

- 反省会の要望・意見に対する提言書（案）を作成し、案を確認した後に提言書を実行委員会へ提出することとした。
- 子供みこしの行事实施時間について、関係部会と調整し、実施時間を決定することとした。

〔主な意見〕

- まんど部会から出された渡御・運行についての意見・要望で、運行に支障が出たことがあった旨も含めて提出されているが、千人おどりにて、行事实施中に東和銀行あたりまでまんどが入ってきて、お互いに端に寄ることで大事に至らなかった案件があった。運行中に見えているはずなので停止していればよかったことである。まつり開催までにあれだけ会議していてこのようなことが起きるとその団体に対し不信感しかなくなってしまふ。町みこしであれば何か問題があった場合に出場停止になる可能性もあるので、本当ならその町の区長に対して叱責などがあってもよいことだと思う。
- まन्दの意見・要望については集合時間が早くなり、行事实施や解散が早くなったのも原因だと思う。やはり決まったスケジュール通りに終わらせることを運営側も注意して見なければならない点であるため、責任者にも注意を促し、事務局でも決められた終了時間に終わるように見ればよいと思う。
- 祈願祭との隙間の時間をあまり作らないようにオープニングの実施時間を遅らせて、一回でほぼ全部できるように実施するのはどうか。
- 宗教の話になってしまうが、般若心経とおぎょんは違うと言っている人も結構いるため、慎重に考えた方がいいと思う。
- 迦葉山からも祈願祭の時間を考えてもらいたいという話をいただいているので、丁寧に実施していた焼香を工夫して時間短縮できればと思う。
- 祈願祭の焼香もできるだけ短縮して実施できるように検討したいと思う。

（３）沼田まつり日程について

〔決定事項〕

- 次回検討委員会にて須賀神社関係者及び祇園囃子保存会から各５名程度招待し、意見交換会を実施する。
- 次回検討委員会は令和６年１２月中に実施する。

〔主な意見〕

- 須賀神社との話し合いだが、堅い話をするのでなく、意見交換会といったかたちで実施できればと思う。最初の話し合いで決裂して、そのまま検討が進まないといったような状況を作らないようにしたい。
- 今までと違い、今回感じているのが大半の区長がみこしを担ぐとかでなく、大所帯をまとめあげるのに平日だと祭典委員が出てこれないなどの悩みが各町であると感じた。持続可能な沼田まつりにしていくにはどうすればよいのかというところは須賀神社側と課題を共有し、一緒に悩んでもらわないとならないことだと思う。一回の会議では結論は出ない話でもあると思う。
- 話し合いには祇園囃子保存会も呼んだ方がいいと思う。
- 令和８年度に日程の検討を実施するのであればしっかりと行動しておかないと納得してもらえないと思うので、これでよいと思う。